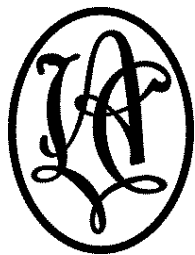


2026 第73号  
千葉支部だより



JAC CHIBA



令和8年4月発行  
公益社団法人  
日本山岳会 千葉支部



支部長 三田 博  
事務局長 三品京子  
編集者 齊藤 和紀

(表紙の絵)  
キューケンホフ公園 (ネーデルランド)  
水彩画 小菅 一弘



谷川岳 (天神尾根)

《もくじ》

- |                   |          |                      |              |
|-------------------|----------|----------------------|--------------|
| ・奥久慈で4支部懇談会       | P2       | ・花粉山行となった埼玉・丸山       | 柳川しげよ P7     |
| ・忘年山行 鹿野山古道を歩く    | 三品京子 P2  | ・「こんにちは」             | 杉原順子 P7      |
| ・新年山行 伊予ヶ岳バリエーション | 三田 博 P3  | ・晴香園 (大多摩ウォーキングトレイル) | 香高真奈美 P8     |
| ・大山登山で初詣          | 中田 彩 P3  | ・晴香園 (高尾山)           | 中田 彩 P8      |
| ・伊豆三山と伊豆山稜線歩道     | 三田 博 P4  | ・《寄稿》山行記録を動画で編集      | 齋藤米造 P9      |
| ・八犬伝ゆかりの富山        | 末吉千穂美 P4 | ・海外山行報告・タスマニア島       | 三品京子 P10     |
| ・谷川岳・天神尾根         | 三田 博 P5  | ・ウォーキングクラブ報告         | 宇津木仁典 P11~13 |
| ・白毛門サーキットでテント泊    | 三田 博 P5  | ・西丹沢エルドラドと椿丸         | 三田 博 P13     |
| ・南魚沼の名山・阿寺山       | 三田 博 P5  | ・時間切れサギダル尾根          | 三田 博 P13     |
| ・三浦富士と武山          | 三田 博 P6  | ・支部山行カレンダー           | P14          |
| ・茂原のパパ山・88m       | 齋藤米造 P6  | ・海外登山報告会             | P15          |
|                   |          | ・お知らせ 《事務局から》        | P15          |

奥久慈で恒例の4支部懇談会が開催されました

三田 博

茨城支部主催による関東4支部（千葉・茨城・栃木・群馬）による合同懇談会が1月24日、奥久慈・太子温泉のホテルで開催され、26名が集まりました。千葉支部からは6名が参加しました。

1日目は開会のあいさつに始まり、各支部の活動報告などの後、茨城支部会員によるインド・ヒマラヤのキャンツェⅡ峰の登頂報告と常陸国ロングトレイルについての講演がありました。夜は、恒例の懇親会がありました。宴会では、同じく茨城支部会員による筑波山「ガマの油売り」の実演もあり、大変盛り上がりました。

翌日は、登山組は「生瀬富士」へ。強風の中、奥久慈ジャンダルムを堪能しました。観光組は「袋田の滝観光」と「おやきづくり体験」を楽しみました。趣向を凝らし至れり尽くせりの懇談会。茨城支部のみなさん、大変お世話になりました。



参加者：節田重節、松田宏也、柳川しげよ、三田博、羽藤美代子、成田知彦（6名）

《忘年山行》鹿野山古道を歩く

三品京子

- ◆山行日/天候：12月20日 曇り時々雨
- ◆参加者：L 山口文嗣、三田博、平野直子、柳川しげよ、齋藤米造、梶田義弘、渡部孝雄、安間茂樹、宇津木仁典、羽藤美代子、坂上光恵、甘楽敦夫、岩尾富士夫、上村紀子、平出正美、竹内進、福里清信、三品京子（18名）

久しぶりの忘年山行に大勢の方が参加、木更津駅で電車組と待ち合わせ5台に分乗して移動する。今日は山口リーダーと多くの会員が3年間かけて調査した鹿野山古道を訪ねる。まずは富士山眺望の名所「鳥居岬」に立ち寄り山口リーダーから解説を聞き、続いて国土地理院鹿野山測地観測所にある春日峰一頭三角点に皆タッチ、ちょっと得した気分。鹿野山神野寺でお参りし九十九谷展望公園で昼食時間とする。

午後は登山口の西栗倉から歩きはじめるも結構な登りに足元に注意しながら進み秋元城址へ、昔の人が削ったであろう手掘りの石の階段なや芭蕉句碑など古道を感じながら歩き秋元浅間山で集合写真を撮ってゴールの九十九谷展望公園へと向かった。

宿泊は岩井海岸の民宿で忘年会から2名が参加し今年一年の出来事や昔話、計画など大いに盛り上がった。翌日は雨予報で山行は中止となり木更津駅で解散となりました。



《新年山行》伊予ヶ岳バリエーション 三田 博

- ◆山行日/天候：1月4日（日）晴れ
- ◆参加者：L 三田博、三品京子、柳川しげよ、末吉千穂美、平野直子、杉原順子、灘信宏（7名）

新年山行で「房総のmatterホルン」伊予ヶ岳に登ってきました。今回はバリエーションの東尾根ルートも歩いてきました。JR蘇我駅に集合、車2台に分乗して平群天神社の駐車場へ。隣接する平群小学校の跡地には小洒落れたスポーツ施設の公園が建設中でした。

天神様にお参りしてから登山スタート。30分ほどで東屋に到着。ひと休みしてから鎖場へ。過去に滑落死亡事故が起きたからか、鎖も支点も本格的なものになっている。短いが険しい岩場を登りきり南峰に到着。伊豆大島の三原山の上部が雪を被っているのがよく見えた。北峰の二等三角点（基準点名・伊予岳、336.2m）にタッチ。富士山がきれいだった。帰りは北尾根に向かう。樹林帯の急な斜面には、手助けのためにクライミングロープがふんだんに張ってある。植林帯を抜けて日当たりのよい桜の広場で昼食にした。

今回は地図に無い東尾根ルートを登るために、いったん伊予ヶ岳林道を歩いて取り付きへ。入り



口は小さな木片と赤テープだけが目印なので見つけにくいかも。木片には「熟達者向き」と書かれていて、これは事実です。房総の山特有の脆い岩稜帯と痩せ尾根の連続で、足を踏み外せば命が危ない！ 房総の山でも最難関コースかも。さらに山椒やタラノ木などトゲトゲが多くて登るのに苦労する。悪戦苦闘してようやく肩の東屋へ戻れた。新年早々、距離こそ短かったですが、中身の濃い山登りが出来ました。

大山登山で初詣

中田 彩

- ◆山行日/天候：1月11日（快晴）
- ◆参加者：L 三品京子、小川和敏、山中孝郎、灘信宏、末吉千穂美、中田彩（6名）
- ◆タイム：大山バス停 8:55→大山寺 9:30-9:40→大山阿夫利神社 10:00-10:20→大山山頂 12:00 - 12:30（昼食）→ ヤビツ峠 13:40



朝は曇り空、予報ではお昼までに快晴の予報、富士山が見えるといいな。

土産屋が並ぶにぎやかなこま参道を歩く。崩落箇所がある男坂を避け、階段の続く女坂をひたすら登る。木につるされた「赤い円」を発見。なんだろう？

大山寺の参道に到着。階段脇の童子

子を愛でつつ境内に。参拝後かわらけ投げに挑戦。「赤い円」に届かず。残念。

大山阿夫利神社へ再び階段を登る。まだかな、まだまだだね。ようやく神社到着。茅の輪をくぐり、一年の安寧を祈願。神社裏の大山御神水を頂き、奥社に向かう。山頂登山口からは見上げるような急な階段。息を切らせ登る。ここから山頂まで28の丁石がある。1丁目から石柱を確認しながら進む。まだ10丁目、まだまだだね、励ましあう。20丁目の富士見台では青空に映える富士山がお出迎え。

山頂の28丁目へやっと到着、多くの登山者でにぎわう。

昼食後、ヤビツ峠へ下山。バス停近くのレストランで反省会。青空、寺社参拝、富士山と、新年に相応しい登山となりました。リーダーと、一緒に登ってくださった皆様に感謝です。



**伊豆三山と伊豆山稜線歩道** **三田 博**

- ◆山行日/天気 1月30日(金)～31日(土) 晴れ
- ◆参加者:L三田博、平野直子、三品京子(3名)

東名高速と伊豆縦貫自動車道を乗り継いで大仁 IC 下車。林道を走り葛城山登山口に駐車、まずは発端丈山を目指す。歩き始めは急だったが、すぐに歩きやすい登山道になる。1時間弱で発端丈山の山頂。富士山が目の前に広がる。寒いので写真など撮り、引き返す。戻る途中の分岐から次の葛城山へ。急登を登るとフェンスがあ



る。葛城山の山頂に行くには有料エリアの入園料2500円が必要なので、フェンス伝いに回り込む。日当たりの良い芝生で休憩したら、破線コースで下山す

る。これが結構急な斜面で木をつかみながらようやく降りた。駐車場までいったん戻り、次は城山へ。30分ほどで修善寺の街を見下ろす城山の山頂に到着。気持ちのいい低山歩きを楽しんだ。

宿泊は、大仁の丘の上に立つ大仁ホテル。長嶋茂雄氏が現役時代に自主キャンプでこのホテルの離れに使っていたそうだ。大仁の街を抜けて城山の山頂まで駆け登り鍛えていたとのこと。



翌日は、だるま山高原レストハウス駐車場から伊豆山稜線歩道へ。戸田峠を経て、小達磨山、長い階段を登って達磨山。古希山の先の伽藍山まで歩く。帰りは富士山を眺めながら同じ道に戻る。帰りに寄った金冠山も素晴らしい富士の眺め。風は冷たいが、南アルプスも見えて笹原の気持ち良いコースを楽しんだ。

**八犬伝ゆかりの富山** **末吉千穂美**

- ◆山行日/天候 2月1日(日) 晴
- ◆参加者:L三田博、三品京子、梶田義弘、平野直子、灘信宏、末吉千穂美(6名)
- ◆タイム:道の駅富楽里とみやま9:35→富山(北峰)11:45→展望台12:30(昼食)→伏姫籠穴13:20→道の駅富楽里とみやま14:10

道の駅富楽里とみやまからスタートです。登山口には『大変険しい道のりで上級者向け』と書かれています。そこからいきなりの急登ですぐに汗がにじみます。足元は乾燥した土が滑りやすく注意が必要です。それでも暫く登ると青く広がった海が見渡せて清々しい。手を使って上ったりロープを掴んで下ったりを繰り返し、北峰展



望台に到着。大島や伊豆半島も良く見えました。

景色を眺めながらの昼食。山で食べる物は何でも美味しい。集合写真を撮り、伏姫籠穴を見学しつつ下山しました。籠穴は八犬伝で伏姫が八房と暮らしたとされる洞窟です。物語の思いが膨らみます。



道の駅到着後は、それぞれ買い物などを楽しみました。風も無く穏やかな陽気に恵まれ、立春前の楽しい登山となりました。

●2026年度支部総会のお知らせ●

2026年度の千葉支部通常総会を下記により開催いたしますので、参加ご予約をよろしくお願いたします。この総会において2025年度事業及び決算報告、2026年度事業及び収支予算計画など審議する予定です。

日 時: 2026年5月9日(土) 午前9:10～  
 場 所: 千葉市生涯学習センター 大研修室 〒260-0045 千葉市中央区弁天3丁目7番7号  
 総 会: 9:20～10:10  
 記念講演: 「妙義山で滑落した私の体験談」 ヨシキ&P2 社長・吉野時男さん (10:20～11:40)

谷川岳・天神尾根

2月とは思えぬ暖かさ

三田 博

- ◆山行日/天候：2月15日（日）～16日（月）晴れ
- ◆参加者：L三田博、平野直子、三品京子、山中孝郎（4名）

前泊登山の予定だったが、初日の方が天気は良さそうなので千葉を早出して谷川岳ロープウェー駐車場へ。別行動の山中さんとも切符売場で合流した。始発は過ぎたので、すんなり乗車できた。



本来なら顔が痛くなるような冷気を覚悟していたのに、この日はどこか春を感じる空気。スタートから、オーバーパンツも手袋を外したくなるほどで、「本当に2月？」と思う場面も。雪はしっかり

あるものの、陽射しが柔らかく、風も比較的穏やか。冬山特有の張り詰めた緊張感というより、どこか余裕

のある山行になりました。青空と白い稜線のコントラストはやはり格別で、暖かい分、景色をゆっくり楽しめた。

さすがに山頂は風が冷たかったが、風下に移れば凍えることなく景色を堪能。例年の厳冬期の谷川岳とはまた違う、少し優しい表情を見せてくれる。冬なのにどこか春の気配を感じた、ちょっと得した気分の山行でした。



下山後は土合山の家で宿

泊。ゆっくり温泉に浸かり、4人で宴会。宿泊者も少なく、とってものんびりできました。

冬期限定の縦走路 白毛門サーキットでテント泊

三田 博

- ◆山行日/天候 2月21日（土）～22日（日）晴れ
- ◆参加者：三田 博、平野直子、ならしの山岳会2名（4名）

前週に続き谷川方面へ。白毛門に登り赤沢山経由でぐるりと回る冬期限定の「白毛門サーキット」へ。ならしの山の会の計画に2名で参加した。

白毛門は登山口からいきなりの急登。テント装備が重い！ それでも高度を上げるにしたがって谷川の素晴らしい眺めが広がる。今回は頂上直下の雪壁もピッケルを使わずストックで登り、予定通り4時間で山頂へ。その先からは、雪庇に気を付けながら踏み跡の無い雪稜歩き。2月なのに春山のような陽気だった。途中、日帰りするという2人組パーティーとすれ違う。



赤沢山に向かう途中でテン泊の適地を見つけ、今夜の宿にする。風も無く思ったより暖かだった。翌朝は4時起床、テントを撤収して6時にヘッドスタート。薄明りの



中、周囲の山が赤く染まっていき幻想的だった。赤沢山まではアップダウンがあるが歩きやすい。赤沢山からの急降下は踏み抜き地獄！ 歩きづらいため、途中からはアイゼンも外してツボ足。何度か転びながらもようやく土合山の家の裏手に降りてきた。

南魚沼の名山・阿寺山

三田 博

- ◆山行日/天候 2月26日（木）晴れ
- ◆参加者：平野直子、三田博、三品京子（3名）

最近、支部有志で平日トレーニングをしているが千葉の山ではどうしても運動量が少ないので、手ごたえを求めて新潟の阿寺山へ3名で行く。阿寺山は八海山

と尾根続きの山で、冬に人気の山らしい。しかし、累積標高は 1,100m を超え、急登続きでなかなか手強い山だった。除雪最終地点で駐車、キャパは 10 台ぐらいまでだろうか。平日なのにラスト 1 台に止められた。

歩き始めはしばらく平坦な雪道。取り付きからはひたすら急登。ツボ足で登るが、雪が柔らかく気を付けないとズルズル滑る。登っても登ってもなかなか山頂が見えてこない。4 時間掛かり、ようやく広い山頂へ着くと素晴らしい景色が待っていました。八海山、越後駒、中ノ岳の越後三山。巻機山には滝雲がくっきりと見えました。

下山はワカンを付けて急斜面をズボズボ降りるが、歩きづらい。日帰り新潟までは遠いけど、いいトレーニングになりました。



### 予定変更して三浦富士と武山

三田 博

- ◆山行日/天候 3月1日(日) 晴れ
- ◆参加者: L 三田博、三品京子、末吉千穂美

支部山行で神奈川の関東ふれあいの道「三浦岩礁のみち」に行く予定がトラブル発生。JR 久里浜駅で京急に乗り換えるが、来た電車がとんでもない混雑。これは何事と思ったら、この日は三浦海岸マラソンの開催日でした。1 万人以上が参加する大きな大会だったそうです。とりあえず三浦海岸まで行って見たが、バスも運休でした。磯伝いの道を干潮時間に合わせて歩くよう計画していたのに、まったく無駄になりました。

仕方なく、京急長沢駅まで戻って三浦富士と武山へ変更することに。海の近くだからと油断していましたが、花粉で全員やられました。ハイキングコースをぐるっと回って津久井浜駅まで 2 時間半。のんびり三浦の里山歩きを楽しんできました。



### 茂原のパパ山 88m ジブリの森を訪ねて

齋藤米造

- ◆山行日: 3月8日(日) 晴
- ◆参加者: L 三品京子、末吉千穂美、小川和敏、宮崎美智代、坂上光恵、齋藤米造 (6名)
- ◆タイム: 茂原工業団地南公園駐車場 9:50→10:00 パパ山  
→10:35 浅間山→11:40 吾参山→12:55 雨乞山→13:30 下山



急階段を登るとわずか 10 分で今日の目的地パパ山 88m 頂上。ここからジブリの世界が広がる。ナウシカ、トトロの森、魔女の宅急便・・・次々に小さな絵が現れ、ジブリファンだったらたまらなく嬉しくなるに違いない。

しかし、ジブリの道と言っても決して子供向けの道ではない。標高 100 m 足らずの超低山と言ってもここは流石 “房総の山”。両側がスパッと切れ落ちていて油断がならない。急登と急な下りが続き、ロープがところどころに張ってある。

浅間山 75m を中央分岐点として、ルートは 8 の字状の周回コースになっている。道迷いで立ち止まること数回、侮れない。一旦車道に出て田んぼの反対側、南側の尾根に取りつく。



標高 53mの吾 (5) 参 (3) 山、次は 50mの御 (5) 礼 (0) 山。そういえばパパ山も 88mだった。やがて 85mの双耳峰雨乞山。最後は急な下りで車道に出て 3 時間半の山行終了。

誰が描いたのか、30 枚近くのリアルで精緻なタッチ

の絵。ジブリの世界に引き込まれた。工業団地のすぐそばにこんな別世界があるとは知らず、おそらく日本山岳会の山行で最低標高を更新したであろう今日のパパ山山行、楽しかった。

### 大変な花粉山行となった埼玉・丸山

### 柳川しげよ

- ◆山行日/天候：2月28日(晴れ)
- ◆参加者：L 小川和敏、SL 三品京子、中田 彩、羽藤美代子、成田知彦、柳川しげよ (6名)
- ◆タイム：芦ヶ久保駅 9:30→丸山登山口 10:00→日向山分岐 10:40→丸山頂上 11:35~12:05→大野峠 12:30→逆側の登山口 13:30→芦ヶ久保駅 14:00

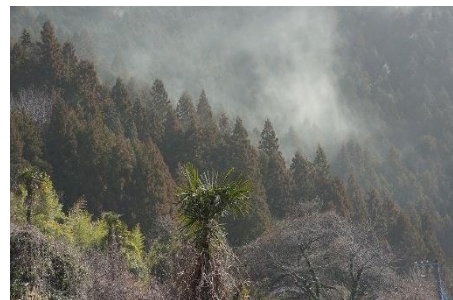
雨模様の予報から晴れに変わり気分は絶好調だった。ところが、この晴天が山行をとんでもなく皆を苦しめさせるものに変えてしまった。それは景色が見えないほどのたくさんの花粉の散乱だった。

芦ヶ久保駅に 9:15 に集合し、そこから歩いて登山口へ。丸山は駅から歩いて登山口へ行かれ、しかも登山道がしっかりしており、日帰りでも十分行けるなかなか魅力的な山である。何故か数日前にこの山の下見に来られた中田さんに先頭を歩いてもらった。駅から時計回りに、右手にどっしりとした武甲山を見ながらゆっくりペースで進む。途中、森のあちこちから湯けむりが挙



がっているように見えたが、それは何と信じがたいほどのスギ花粉だった。登山道は気持ちが良いほど真っ直ぐな檜の道だった。

2時間ほどで頂上へ。でも残念ながら、眺望が良いはずなのに花粉で霞んでしまっていた。しかしながらどうであろうが頂上に立つのは嬉しい。ここで昼食とする。その後、展望台に登り皆で写真を撮った。30分ほど休憩した後下山へと向かう。やはりこちらの道も真っ直ぐな感じで気持ちは軽やかだった。スタートから約4時間ほどで逆側の登山口へ。そこからは車道を進み芦ヶ久保駅へ向かった。恒例の反省会は芦ヶ久保駅周辺には見つからず、飯能駅近くの中野店で行なった。帰りの特急券を購入した関係から、時間制限の中で楽しいひと時を過ごすこととなった。



### ♪ こんにちは ♪

### 杉原 順子

こんにちは、杉原と申します。2024年12月に千葉支部に入会させていただきました。

これまではテント泊を中心に縦走登山を楽しんできました。自分の背負える装備で数日間を山中で過ごし、稜線を繋いでいく時間が何より好きです。

特に雪山には強く惹かれています。静まりかえった白銀の世界で、状況を見極めながら一歩ずつ進む緊張感と充実感、夏山とはまた違った魅力があります。長い行程を歩ききったときの達成感、テントの中で迎える朝のひとときは格別ですね。山では謙虚さと基本の積み重ねを大切にしていきたいと考えています。

私の今後の夢はバックカントリースキーに挑戦したいと考えていますがハードルが高くて果たして実

現出来るかどうか不安ですが、挑戦してみたいと考えております。

体力にはまだ課題もあり、経験不足で学ぶことが沢山ありますが、安全第一で長く山を楽しみたいと考えています。

会の皆様とご一緒しながら、さらに経験と技術を深め、安全で質の高い山行を重ねて行ければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。



晴香園山行「大多摩ウォーキングトレイル」を歩く

高橋琢子

- ◆山行日/天気：12月6日（土）晴れ
- ◆参加者：晴香園（児童2名、職員2名）、L三木雄三、香高真奈美、國宗文、竹内進、竹園清孝、中田彩、山中孝郎、渡邊悦郎、高橋琢子（9名）

晴天に恵まれた奥多摩駅、予定の「日原鍾乳洞」から多摩川沿いのウォーキングに変更して、10時20分に出発した。女子児童2名と大人11名の参加である。

歩きはじめて直ぐに、多摩川にかかる昭和橋を渡りながら、Kちゃんが「きれいだね～、気持ちいい！」とつぶやいた。ただ元気印の甘えん坊と思っていた子が、青い空や紅葉や深い溪谷を見て、思わず出た言葉なのでしょう。グッときた。

第1ポイントの発電所から、いよいよ溪流沿いのまだまだ紅葉の残る数馬峡遊歩道に入る。するとRちゃんが「川の色が青くてきれい」と一言。確かに水の色が変わっていた。

冷えた空気が漸く温む頃、第2ポイントの白丸ダムに到着。暖かい日差しを浴びてお待ちかねお昼タイム。ダムでは魚道も見られて、ダムカードもゲットした。

鳩ノ巣溪谷に近づくと、チャートのでき方や溪谷のできた時代などミッキーこと三木さんの自然学講座が始まった。子どもたちが、ハンマーで岩を叩いてその堅さにビックリしたり、「しゅう曲した岩もあるから、見つけてごらん」「曲ってる」「断層だ」など楽しい会話が続いた。

13時30分、鳩ノ巣駅到着。思った以上に変化に富んだ楽しいコースで大満足。子どもたちの「ダムに行けて良かった」「水がきれいだった」の感想に、大人たちは、熊に出会わないで本当に良かった！と胸を撫で下ろしたのだった。



晴香園山行 雪を満喫した高尾山

中田 彩

- ◆山行日/天候：2月7日（雪）
- ◆参加者：園生2人、引率職員2人、支部会員10名：香高真奈美、今井貴朗、齋藤米造、山中孝郎、渡邊悦郎、竹園清隆、高橋琢子、吉田望、國宗文、中田彩
- ◆タイム：高尾山口 9:50→高尾山駅 10:30→薬王院 10:50-11:15→高尾山頂 11:25 - 12:00（昼食）→高尾山口 13:40



天気予報が当たり、今にも雪が降りそう。行き先を陣馬山から高尾山に急遽変更。いつもは混雑する高尾山口も今日はずら。ケーブルカーで高尾山駅へ。子どもたちはケーブルカーの1番前に陣取り景色を堪能。下車後、天狗焼をいただく。黒豆餡が美味。

山頂へ歩き出し。タコ杉を眺め、煩惱と同じ108段の階段、ついで男坂の急で長い階段を登る。子どもたちは雪が降っていても元気だ、どんどん進んでいく。

天狗がいっぱいの高尾山薬王寺にお参りし、牡丹雪が舞い降りる山頂へ。

そばの東屋でお昼ご飯。シナモンのキャラ弁、たまごサンド。どれもお手製で美味しそう。お湯を沸かし、お汁粉やコーヒー、山ご飯を子どもたちと満喫。

一号路にて下山。降り積もった雪が美しい。子どもたちはストックで木の雪を落としながら元気に歩く。急坂を下り、高尾山口到着。

美しい雪景色、由緒あるお寺と、楽しみの多い山行でした。雪で寒かったけど一緒に歩いて心がほかほかしたね、ありがとう。



寄稿

山行記録を動画で編集

齋藤 米造

◆動画編集を始めたきっかけは・・・西表島発見の旅

2018年、西表島発見の旅に続いて三週間のヒマラヤトレッキング。数枚の画像では到底表現しきれない膨大な情報を何とか一つの形にまとめたいと考えていました。その頃、友人が作成したエベレスト登頂動画を見て”これだ!”と思い、その友人から動画作成の know-how を授かりました。

最初に手掛けたのは「西表島発見の旅」。何度も何度も添削・修正をしてもらいながらどうにか完成し、続いて2本のヒマラヤトレッキング動画を作成したころから、だんだん面白さがわかってきました。



◆山行記録としての動画

幾つかの山行や個人の活動記録を動画編集していくなかで、動画の有用性が確かなものとなってきました。

昨年の千葉支部総会や支部HPで紹介された動画「房総の山復興プロジェクト総集編」をご覧になった方も多いかと思います。2025年自然保護全国集会でも千葉支部の取り組みとして上映されました。これは3年以上に及び、多くの人々が房総の登山道整備に汗を流した活動の記録を一つにまとめたものです。千葉支部の取り組みを、動画という手法で記録として残せたことと、YouTubeにUPすることで不特定多数の方にも活動を知っていただくことが出来ました。



同様に2024年に千葉県で初めて開催された「全日本登山大会」の記録も、動画によって多くの方に視聴していただきました。



◆動画はどうやってつくるの？

最初は無料ソフトを使っていましたが後に Power Director という市販ソフトを使うようになりました。動画作成は大雑把に言うところの手順です。

- ①撮影したたくさんの画像と動画を選択し並べる
- ②字幕を入れる
- ③タイトル作成
- ④BGMを挿入する

ここで、私が特に力点を置くのはBGMです。著作権侵害にならないよう注意しながら、動画の内容にぴったりはまった音楽を見つけると嬉しくなります。収益化していないので、多くの音楽は使用を認められます。



◆YouTubeにUP

完成した動画を自分のチャンネルにUPする際に注意すべき点は、動画の公開の可否です。個人を特定するものや、肖像権の問題が起きそうなものはURLを知る人のみが視聴可能な「限定公開」に設定しています。個人的な記録動画は「非公開」に設定します。



◆自分でもビックリ！3万回視聴された動画

年初、幸運にも10倍の確率という初日の出フライトに当選しました。この体験動画「2026ANA初日の出フライト」をYouTubeにUPしたところ、2日で2万回に、その後3万回を越える再生回数となり、自分でもビックリです。今まで8年間ほど、50本近くの動画TOTALでも約1万回でした。



◆YouTubeで「MTsaito」と検索して動画をご覧いただければ幸いです。

海外山行報告

オーストラリア・タスマニア島  
オーバーランドトラックを歩く

三品 京子

【期間】2026年1月16日～1月26日 【メンバー】小川和敏、三品京子、他7名



タスマニア島に以前から行ってみたいと思い計画、千葉支部から小川さんと参加、12名までの制限、ツアーガイドと6日間北から南へ縦断コースです。

1月16日、成田空港からメルボルンへ。17日AM到着し国内線でローンセストン空港着、添乗員のMissyさん（日本人）と合流しツアーの拠点のホテルにチェックインしました。ここでガイド2名と合流しトレッキングガイドンスに参加、ガイドはトビーとエレノアでガイドの仕事の他、ハットは無人の為食事・掃除全てを担当します。

18日（晴）朝食を済ませバスにてスタート地点のワルトハイム(930m)へ2時間ほどのドライブです。登山口に到着後、ランチボックスと行動食のナッツを受け取り6日間の旅のスタートです。スタートの登山道はなだらかで遠くには今から歩いて行く山が見えます。今日はマリオンズルックアウト

(1223m)まで登りグレイドルマウンテンやダブ湖の景色を眺めウォーターフォールバレーまで下りバーンブラフハット泊です。登山道にはウォンバットの落し物があちこちにあり出会いに期待します。

オーストラリアのイメージは赤茶けた土にユーカリの木が果てしなく続くかと思いますが、ニュージーランドの南島とよく似ており木々が茂り川に湿原、滝など大地は潤っています。ただハットは全ての水は雨水を利用するためシャワーも4分、毎日熱いお湯と水の調整に四苦八苦でした。楽しみの食事にはタスマニアワインにチーズやワラビーの燻製肉など日本では見ない食べ物が見られます、夕食はパスタやカレー中華など、デザートはティラミス、ブリュレと山の中とは思えないメニューです。朝食も焼き立てパンにオートミールです。当然ランチボックスも毎日



楽しみにしながら歩きました。

19日（晴）エレノアは子供の時に日本で1ヶ月ホームステイしたそう日本で大好きな女性です。出発の掛け声は「イキマショー」と笑顔で先頭を歩きます。今日はグレイドル山とバーンブラフ山を後にペリオンウエスト山を前方に見ながら進みます。湿原と丘のアップダウンからボタングラス草原で休憩。ここからザックをデポしてウィル湖へサイドトリップしました。今日の宿はパインフォレストムーアハットです、昨年落雷により消失し焼け跡に急遽建てたので部屋はテントの中にベットとグランピングの雰囲気です。テラスではオークリー山に沈む夕日を眺めました。



20日（晴）ペリオンウエスト山麓に生い茂る南極ブナの原生林からフォース川へ下りトラック最低地点(750m)のフロッグフラット湿地への途中、登山道でつけたハリモグラはとってもかわいかったのでビジターセンターでぬいぐるみのお土産を買いました。今夜はペリオンハット泊、夕食後トビーがテラスでヨガをしているとウォンバットが現れ動画を撮影したので見せてもらいましたが、私は今回は会うことができませんでした。

21日（曇りのち雨）ペリオンギャップ高原(1126m)まで進みタスマニア最高峰マウントオッサ(1617m)に挑戦です。トビーの説明では山頂手前が蟹の横這いや大岩があり鎖・ロープなどは一切ないとのことです。余分な荷物はデポし5名でチャレンジです。山頂に向かって一直線に描かれた登山道、オーストラリア人は真っ直ぐに登ると聞きその通りの登山道をひたすら登り岩場も何とかクリアして登頂しました。雲の切れ間に見渡す景色、氷河で削り取られた山々を見渡しまし

た。下山もスリル満点、無事にデポの場所まで着きホッとしていると雨が振り出すなか今夜の宿のキアオラハットに到着。その後雨がやみ素晴らしい虹が祝ってくれました。

22日(晴) マーセ川沿いに下りハートネット滝へ行きます。途中サイレントウォークの時間です。前の人が見えなくなったら次の人がスタートし、2000年を超える杉が残る森を一人楽しむ30分でした。山で過ごす最後はウィンディリッジハットで、ビールタワーが用意され皆大いに盛り上がった夕食でした。

23日(晴) ゴールのセントクレア湖北端ナルシサス(700m)まで歩きセントクレア湖クルーズの後シンシアベイで終了です。6日間80kmを歩き通しました。今夜はローンセストンです、ゆっくりシャワーを浴び、皆で大騒ぎしながらオージービーフで祝杯を上げました。

24日(晴) ローンセストンからホバートの市内観光、夕食はシーフードを楽しみました。

25日(晴) ホバートから空路シドニーへ、昨日までは15℃前後と快適な気候でしたがシドニーは35℃と夏を思い出す暑さでの市内観光となりました。

## ウォーキングクラブ報告



### ●No.37 九十九里浜ウォーキングと忘年会

◆実施日：12月13日(土) 晴れ

◆参加者：L宇津木仁典、長谷川博、灘信宏、黒住清美、小林ユキ子、新井好夫、小川和弘、梶田義弘、平出正美、渡部孝雄、岩尾富士夫、吉田望、高橋啄子、三木雄三(14名)

「歩く楽しみ、自然を味わう・フラット登山」書が発行された。ウォーキングクラブとして興味があったので購入した。フラット登山コースガイド30のなかに「九十九里をひたすら北に向かって歩く」があった。外房線の長者駅が待ち合わせ場所、何もない静かな田舎の駅である街中を抜け、夷隅川を渡る橋のたもとへ出ると 広々と視界が開けて気持ち晴れてきた。川沿いに河口へと向かい、やがて太平洋が目にはいつてくる。

太東海浜植物群には、黄色くかわいいイソギキクが沢山咲いていた。大東埼灯台あたりは観光地っぽい仕立てでもあるが、週末でも人はまばらである。灯台からわずかに離れた海岸沿いまで足を進めると長大な九十九里浜が地平線の向こうにまで伸びているさまが見えてきて、仲間たちから歓声が出る。気持ちがあがってくる。灯台を出て海沿いを北へ出発する。海岸まで山が迫っていて岩が海流に侵食した雀島は、起伏のある地形のなか海が近づいて変化に富んで楽しい……関東ふれあいの道コースは、東浪見海岸から JR 東浪見駅へゴールであるが、仲間たちから「もう



少し歩いていいかな」という声が上がると……続く。

このコースに興味があったので、早速、今年最後の12月ウォーキングコースとして会員宛に「日本最長級の砂浜」九十九里浜をほんの少し歩いて、夜は忘年宴会」タイトルに知らせた。

当日は、ウォーキングには12名参加して外房線・長者駅10:00スタートして JR 太東駅ゴール15:20 ゴールした。ウォーキングコース立ち寄り地は、JR 長者駅前⇒江東橋⇒太東海浜植物群落⇒昼食⇒太東埼灯台⇒飯縄寺⇒雀島⇒JR 外房線・太東駅で歩数19,200歩、歩行距離約15kmであった。夜は九十九里浜展望の宿で10名が参加して忘年宴会となり、本年は月一実施のウォーキング仲間が、終始楽しく喋り歩いたこと等を顧みた。



終始楽しく喋り歩いたこと等を顧みた。

早速ウォーキング仲間からはメールが届いた。「昨日は楽しい一日を、太東埼から見た海は、♪広い大きいな〜。清々しい気持ちで一年を締めくくることが出来ました。昼食のピザも美味しかったですね。年が明けた2月のウォーキングについて、私の担当で計画書を作りました。以下の内容でどうでしょう。」また、「このコース以外に付近の海岸コースを更に歩きたいです」(宇津木)

## ●No.38 都電荒川線で名所旧跡を歩く

◆実施日：1月24日 晴れ

◆参加者：L岩尾富士夫、宇津木仁典、吉野聡、梶田義弘、梶谷天兵、塩塚正二、新井好夫、清宮政宏、灘信弘、高橋啄子、黒住清美、小林ユキ子（12名）



JR王子駅前スタートし、飛鳥山公園で渋沢栄一の功績を辿り、巢鴨のとげぬき地蔵、雑司ヶ谷霊園、鬼子母神堂、千登世橋、学習院大学、山吹の里、甘泉園公園、大隈講堂で解散。

王子から飛鳥山公園へはアスカルゴ（モノレール）で上がる。8代將軍徳川吉宗が桜の名所として庶民に開放し、現在でもその名所である。渋沢史料館などがあり王子製紙ゆかりの紙の博物館を見学した。

ここから都電になるが公園付近は道路に軌道が埋め込まれ、その上を車が走行するため路面電車ともいわれ交通信号に従う。ここから専用軌道になり次に移動する。

庚申塚から巢鴨商店街はおばあちゃんの原宿といわれる。本日24日は例大祭で多くの参拝者賑わっている高岩寺（とげぬき地蔵）に到着した。この

尊像のお札を貰えば全ての病のとげを抜くご利益があると江戸時代から評判だった。この通りは旧中山道であった。ランチも食堂が行列で料金も高く、分散食事となる。

都電雑司ヶ谷からすぐ前が雑司ヶ谷霊園、事務所でマップを貰うが広大で辿り着くのに時間がかかり、東条英機、大川橋蔵、永井荷風、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）でタイムアウト。鬼子母神前からの参道には樹齢約700年の銀杏の巨木が両側にズラリと圧巻である。賑わう境内には鬼子母神堂があり安産・子育ての神が宿る。

これより目白通りから日本初の立体交差の千登世橋を渡り学習院大学正門へ、戦前は宮内庁管轄で皇族・華族の教育機関、戦後は文部省管轄になる。

戻って明治通りを都電に沿って神田川を渡り面影橋たもとの山吹の里で太田道灌をしのび甘泉園公園に向かう。相馬邸の回遊式の庭園として知られる。都電終点早稲田から大隈講堂へ、解散、お疲れ様でした。（岩尾）



## ●No.39 成田空港まわり今昔ウォーキング

◆実施日：2月21日 晴れ

◆参加者：L黒住清美、宇津木仁典、塩塚生二、梶田義弘、國宗文、鎌谷繁、灘信宏、小林ユキ子、岩尾富士夫、坂上光恵、羽藤美代子、長谷川博、新井好夫、竹園清隆（14名）

成田空港は利用するけれど、その周りってどんな所？探索するウォーキング。主な立ち寄り地は、旧岩崎久弥末廣農場別邸（公園）→昼食（台湾食）→三里塚公園→ひこうきの丘→空の駅・しばやま→芝山水辺の里→航空科学博物館→空と大地の歴史館（歩行距離約15km）で計画した。



この地は、古来より馬の放牧が行われ江戸時代には「佐倉牧」が設置され、当時3000頭が幕府御用馬を生産していたという。そんな古き昔の地に、成田空港が建設されて開港以来50年近くになる。最初の立寄り地は、京成成田駅前からバスに乗車して「旧岩崎久弥末廣農場別邸公園」に到着。三菱三代社長岩崎久弥が、晩年に過ごした旧岩崎家末廣別邸である。この岩崎家が所有していた農場（東京ドーム約73個分）内では、主屋や東屋を見学した。

これからの長距離のウォーキングに備えて、台湾料理レストランに向かうが、途中には乗馬クラブのサラブレッドや厩舎を覗きつつ、連なる各畑には、市場へ出荷できない不揃いのオレンジ色鮮やかなニンジンがいっぱい放置され、このニンジンを横目に「分けて貰いたいなあー」と呟き合いながら、暫しウォーキング続けた。次の立ち寄り地「三里塚記念公園」に到着した。旧

「宮内庁下総御料牧場」が置かれた場所で、常勤職員から広大な土地と歴史の説明があった。100年に及ぶ日本の畜産振興のパイオニアとして牧畜、農耕、獣医学の研究等が行われ地であり、また貴賓館では各国の大使を花見に招待する園遊会や皇族がおいでの際の宿舎となったこと等。また、貴賓館裏側には、戦争末期に作られた幅70cmコンクリートで四方が囲まれた東宮ご避難用防空壕があるが、利用されることは無かったそうです。この壕に入り壕内を見学した。



今や世界中の国々の飛行機が一日に700回以上も離発着する成田空港。西側道路へと進んで「ひこうきの丘」へ到着した。その時、ゴーっという爆音と共に青緑色でウミガメ柄のエアバス「フライングホヌ」が目の前に飛来してきた。ラッキー！勇ましくも可愛らしい姿に皆は、大歓声！！また、遠方に見える空港施設を見渡すと管制塔や待機する飛行機が小さく見え、空港の大きさを実感しました。「ひこうきの丘」では、ハートのモニュメントを背に記念撮影。次は、丘を南へ下って「芝山水辺の里」、ここは自然公園として里山の自然空間を活かした散策路、しばらく歩いた後「航空博物館」に16:00到着。

日没も迫っていたので、「航空博物館」内の見学と立ち寄り地「空と大地の歴史館」内の見学計画は、次回にしてウォーキングは終了した。寒気から一変して気温は上昇した春を感じるなかのウォーキング、柔らかな風が吹きゆく下総台地の真ん中に立ち、成田の今昔と未来に思いを馳せた一日となりました。(黒住)

日没も迫っていたので、「航空博物館」内の見学と立ち寄り地「空と大地の歴史館」内の見学計画は、次回にしてウォーキングは終了した。寒気から一変して気温は上昇した春を感じるなかのウォーキング、柔らかな風が吹きゆく下総台地の真ん中に立ち、成田の今昔と未来に思いを馳せた一日となりました。(黒住)

### 西丹沢のエルドラドと椿丸

### 三田 博

- ◆山行日/天候：3月22日(日) 晴れ
- ◆参加者：L 三田博、三品京子、末吉千穂美、横江紗也香、宮崎美智代、山中孝郎(6名)
- ◆タイム：浅瀬駐車場7:40→8:50 法行沢→9:20 エルドラド→10:00 クマ沢の頭→10:40 椿丸 11:15→12:20 笹小屋ノ頭→12:55 菰釣山→13:15 駐車場



西丹沢のミツマタ群生地である「丹沢エルドラド」を通り、椿丸へ行った。エルドラドは最近、登山コミュニティサイトなどで知られるようになり、訪ねる人がずいぶん増えている。

3連休で浅瀬の駐車場もほぼ満車、路駐の車もあった。大又沢沿いの林道を1時間歩いて法行橋を越えて法行沢林道に入る。すぐに目印のソーラーパネル脇を降り、法行沢を渡渉して急斜面に取付く。ずるずる滑りそうだが気を

付ければ無問題。しばらく上ると黄色いミツマタの花が一面に広がるエルドラドに到着する。ちょうど満開のようだ。ミツマタ群落の間を抜けて、次はクマ沢ノ頭を目指す。アップダウンはあるが比較的歩きやすい登山道だ。



そこから尾根通しを小一時間で椿丸の山頂に到着。先行したいくつかのグループが昼食を取っていた。椿丸は西丹沢の秘峰だったはずだが人が意外に多い。この時期は我々と同じく、エルドラドのミツマタとセットで登る人が多いようだ。帰りはクマ沢ノ頭手前で南に派生する尾根を歩き、「笹小屋ノ頭」付近を通り菰釣山取付きに下山。世附川沿いの車道に出ると、朝歩いた浅瀬近くの道に出ることができた。マイナールートながら危険な場所もそれほどなく、山歩きを楽しむことができた。

### 時間切れ サギダル尾根

### 三田 博

- ◆山行日：3月12日(木)～13日(金)
- ◆参加者：L 平野直子、三田博、上條誠一郎、三品京子(4名)

支部最年少の上條君の入試が終わり、めでたく進学先も決まったので「お祝い山行」で中央アルプス・宝剣岳(サギダル尾根)へ行った。12日は足慣らしで、駒ヶ根スキー場から空木岳の下部にある池山(1774m)に登った。池山避難小屋まで往復4時間半だった。

翌日は、バリエーションのサギダル尾根へ。ロープウェーであつという間に2600mの千畳敷に到着。装備を整えて雪の斜面を登る。途中で4人パーティーに譲り、先に行ってもらったが、1ピッチ目の取付きで待たされる。1時間半以上待ったが、天候は下り坂だし寒いので、このまま

登っても宝剣の岩場通過に時間が掛かりそうなのでリーダーが撤退を決める。灌木を支点に懸垂を2ピッチして雪斜面を下降する。

セルフの取り方、ロープの引き方など確認しながらの撤退だったので、雪上訓練の代わりにはなつたと思えば、これはこれで面白かった。



山行カレンダー (2026年4月～)

日程	山名	難度	備考	リーダー	締切
4月11日(土)	市原市上総米沢地区	W	上総牛久米沢の森周辺を巡る	長谷川	4月4日(土)
4月11日(土)	伊豆・玄岳	A	春の陽気と富士山一望	成田	4月3日(金)
4月12日(日)	浅間嶺	B	奥多摩でお花見	宮崎	3月27日(金)
4月19日(日)～20日	山梨・鬼ヶ岳	C	富士五湖周辺でバンガロー泊	三田	3月21日(土)
4月29日(水)	南秋川・軍刀利沢	C	新緑季節の沢登り。電車予定	三田	4月15日(水)
5月6日(水)	高尾・城山北東尾根	B	読図山行 (要コンパス・地形図)	三田	4月29日(水)
5月9日(土)	千葉支部定期総会				
5月10日(日)～11日	山菜山行	A	茨城または福島方面	平野	3月30日(月)
5月16日(日)	市原市五井歴史ルート	W	上総国分寺・国分尼寺周辺を巡る	高橋	5月9日(土)
5月16日(日)	伊豆ヶ岳・東尾根	C	岩場ありバリルート、西吾野駅集合	三田	5月10日(日)
5月23日(土)～24日	マナスル70周年事業		本部主催、立正大学にて開催		
5月29日(金)～30日	金時山		前泊予定 金時神社から反時計回り	小川	4月30日(木)
6月7日(日)	上高地ウエストン祭		本部主催・信濃支部主管		
6月7日(日)～8日	横尾山と高登谷山	B	みずがき山自然公園でテント泊	三田	5月29日(金)
6月14日(日)～15日	尾瀬・アヤマ平	B	鳩待峠からアヤマ平ピストン	三品	4月10日(金)
6月20日(土)	都内区・練馬区	W	史跡旧跡観光地巡りウォーキング	宇津木	6月13日(土)
6月20日(土)	JAC 定期総会				
7月11日(土)～12日	八ヶ岳・赤岳	C	赤岳鉱泉泊、硫黄岳横岳から	成田	5月29日(金)
8月2日(日)～4(火)	鳥海山	C	萩川ヒュッテからピストン (避難小屋泊)	三品	6月5日(金)
8月22日(土)	埼玉・官ノ倉山	B	東武東上線竹沢駅から面白い山歩き	小川	8月15日(土)
8月29日(土)	埼玉・越上(おがみ)山	B	西武線東吾野駅から信仰の山へ	小川	8月20日(木)
9月27日～28日	JAC 全国支部懇談会		富山支部主催、会場・立山		後日募集
11月21日～22日	関東4支部懇談会		群馬支部主催、高崎市内・榛名山		後日募集

【ユース千葉の予定】

- 6月13日 クライミング・ロープワーク講習会
- 6月21日 沢初級講習会
- 8月21日～23日 北鎌尾根
- 8月29日～30日 CMSCA 沢講習
- 9月19日～22日 沢と焚き火
- 10月～1月 クライミング・ファーストエイド・雪上訓練

●**山行の心得** リーダーは、ガイドや添乗員ではありません。「連れて行ってもらう」ではなく、自主的な意識を持ち参加してください。

リーダーが参加者にそれぞれ役割を振り分けますので、積極的に引き受けてください。参加する前に、山城、コース、交通機関などは地図やガイドブック、ネットなどで十分下調べして下さい。地図・コンパス・筆記用具は、どんな山行でも必ず持って来てください。また、山行に見合った登山保険には必ず入ってきてください。遭難救助付きの保険加入は任意ではなく、すべての登山者の義務です。体調不良者が出れば事故と同じで、山行は中止になり引き返すこととなります。日頃の自主トレーニングも是非行なうようにしてください。

●**山行の申込み**

申し込みは、原則として電子メールで行ってください。その際には下記事項の記入をお願いします。

①氏名②生年月日・年齢③住所、自宅電話番号、携帯電話番号④緊急連絡先氏名（続柄）、緊急連絡先電話番号  
 ※年齢は山行日の年齢です。計画書と違うと保険が効かない可能性もあります。  
 山行は定員を設けています。また、技術・体力不足、初参加で力量不明の場合はお断りすることもあります。  
 各山行形態に見合った山岳保険に加入していない場合は、当該山行には参加できません。

リーダーの連絡先	
松田 宏也	印刷版を参照してください
三木 雄三	
三田 博	
平野 直子	
小川 和敏	
三品 京子	
今井 貴朗	
宮崎 美智代	
成田 知彦	
香高真奈美	
宇津木 仁典	

《《難度》》

- W ウォーキング
- A 整備され歩行2～3時間
- B 歩行5時間前後
- C 歩行7時間前後、一部岩あり体力要
- D 強い体力、岩技術要
- E 高い適応能力要、危険度大

(難度は JAC 日本 300 名山を参考。岩・沢及び積雪期は難度アップとする。)

個人山行も計画書提出をしてください。

送信先 ; cib-info@

**慶応大学で海外登山報告会、天皇陛下がご出席**

**三田 博**

3月14日、東京・港区の慶應義塾大学で第3回となる JAC の「海外登山報告会」が開かれました。日本山岳会の海外登山支援を受けた登山団体による報告会で、4つの団体・個人が発表しました。昨年に続き天皇陛下がご出席されました。

立教大学山岳部によるアンナプルナ山群のピサン・ピーク (6091m) 遠征は、学生のみメンバーで5人全員が登頂に成功した報告がありました。次にフィリピン・ミンダナオ島に3人で沢登りに向かった小阪健一郎氏は、現地の山岳部族に意思疎通ができないまま捕縛された経験を話しました。次に、ヒマラヤキャンプ 2025 年隊は、ビジョラ・ヒウンチュリ (6111m) 北東稜からメンバー6人全員が初登頂を果たした報告がありました。最後に、千葉支部の平野直子会員も参加した JAC ユースクラブのカナダ・アルバータ峰の遠征報告がありました。各チームともスライドと動画を多用して工夫を凝らし、見応え聞き応えのある報告会でした。

**事務局からのお知らせ**

●**メールアドレス登録のお願い**

メールアドレスが未登録の会員・会友の皆様へ、本部からの講習会の紹介・千葉支部の山行計画やお知らせなど随時メールにて配信しております。

cib-info@ メールを送信してください。件名は「メールアドレス登録」としてください。

●支部年会費の納入について（振込用紙を同封しております）

令和8年度年会費の振込みをお願い致します。支部の運営にとって大切な原資です。未納者には、支部だよりの配布、並びにメール他での連絡を停止します。

以下がゆうちょ銀行の送金口座です。

記号番号で送金の場合：

店名で送金の場合：

加入者名 日本山岳会千葉支部



●千葉支部 20周年海外山行・台湾玉山、参加者募集について

期日：2027年5月10日（月）～15日（土）

定員：11名（問い合わせ・申し込みは三田支部長まで）

●役員会報告

○12月報告 12月16日（火）リモート（三田、三品、甘楽、平野、三田芳、渡部、小川、香高、宇津木、成田）

◇山行・行事報告 11/22 群馬・嵩山、11/23 二つの恩賜公園と築地に残るインド風寺院と旧史跡を巡る W、11/29 陣馬山、12/6 年次晩餐会、12/6 晴香園、奥多摩ウォーキング、12/7 年次晩餐会山行・高尾山、12/13～12/14 九十九里浜 W

◇山行・行事予定 忘年山行、伊予ヶ岳、大山、4支部懇談会、伊豆山稜線歩道、房総・富山、三浦富士・武山、谷川岳など

◇報告・検討事項 創業120周年記念式典・年次晩餐会・忘年山行、四支部懇談会、役員新年会について

○1月報告 役員会休会

○2月報告 2月17日（火）リモート（三田、三品、三田芳、宇津木、平出、成田）

◇山行・行事報告 12/20～12/21 忘年山行、1/4 伊豆ヶ岳、1/11 大山、1/14 都電荒川線で名所旧跡を歩く W、1/24～1/25 四支部懇談会、1/30～1/31 伊豆山稜線歩道、2/1 房総・富山、2/7 高尾山・晴香園、2/12 ユース千葉笠森トレーニング、2/15～2/16 谷川岳

◇山行・行事予定 成田市（成田空港）W、埼玉・丸山、三浦・岩礁のみち、パパ山（茂原市）など

◇報告・検討事項 20周年記念事業、支部定時総会について

○3月報告 3月17日（火）リモート（三田、三品、渡部、香高、甘楽、成田）

◇山行・行事報告 2/19 筑波山、2/20～21 白毛門サーキット、2/21 成田 W、2/26 阿寺山、2/28 丸山、3/1 三浦富士、3/7 高岩山、3/8 パパ山、3/12～13 サギダル尾根

◇山行・行事予定 岩殿山、椿丸、目黒区 W、市原 W、鬼ヶ岳

◇報告・検討事項 20周年記念事業、支部定時総会について

●会員・会友の動向

《入会》 なし

《退会》

【会員】 岡部さん（13101） 加藤さん（17035） 東さん（16989）

**50歳未満は、千葉支部への入会金と年会費2年間分を免除します！**

千葉支部への入会には経験・年齢の制限は設けていません。身近な人で登山経験者や登山を始めてみたい方がいましたらご紹介ください。入会希望者向けの「ガイドンス山行」に参加できます。日本山岳会への入会もご相談に乗ります。特に若い方が入会しやすいように、50歳未満の新入会員は入会金1,000円と2年間の年会費（正会員1,500円又は会友3,000円）を免除します。